

## ひと・まち活性化部会の今後の方向性

### ～人口減少抑制(子どもを産みたい、育てたいと思える環境づくり)に向けた取組～

平成29年度「ひと・まち活性化部会」では、全2回のワークショップを開催し、延べ66名の皆様からご意見を伺った。

それを踏まえて、地域、北区役所では当面、以下の方針で取り組んでいく。

#### 基本的な考え方～目指すべき方向性～

- ① 少子高齢化を共通課題として認識し、妊婦さん、子ども、子育て世代を大切にする。
- ② ご近所という、身近な生活圏で顔の見える、緩やかな関係性を作る。
- ③ 核家族が増加する中において、地域全体で子育てをする“家族観”を醸成し、育児不安を解消する。
- ④ 夫婦や家族での地域活動への参加を呼び掛け、男性の育児参加や家族の絆を深めるきっかけを作る。

#### 地域での取組

- 先ずは挨拶、声掛けから始め、地域で顔の見える関係を築く。
- 挨拶や声掛けを始めるための基礎情報を把握する。  
⇒ 新生児誕生の情報を町内会等で把握するルールを作るなど。
- 地域行事等への参加を直接呼び掛ける。  
⇒ 地域の同年代からのアプローチを図るなどの工夫をする。

#### 北区役所での取組

- 子育てに係るイベントを開催するに当たっては、対象者を新たに妊婦さんや配偶者に拡大するなど、一層の充実を図る。
- 転入、乳幼児健診など、妊婦さんや子育て世代の方が役所や医療機関等に来られる機会を通じて、子育て情報や地域情報の分かりやすい発信に努める。
- 子育てに関わるNPO等に北区民まちづくり提案支援事業を活用してもらえるように積極的に働き掛ける。

#### 地域と区役所が連携して推進する取組

- 町内など頻繁に顔を合わせる身近な範囲で、子どもたちを中心にした事業を実施し、子どもや子育て世帯と顔見知りになれる機会を増やす。